

令和5年度第1回芽室町総合計画審議会・第1回専門部会 議事録

令和5年7月25日（火）18:30～20:35

めむろーど2階セミナーホール

《参加者》

審議会出席委員（14名）

貫田会長、明瀬副会長、廣江副会長、岩野委員、江口委員、岡田委員、黒田委員、小池委員、小林（覺）委員、小林（善）委員、鈴木委員、棚瀬委員、花岡委員、林委員

審議会欠席委員（1名）

白銀委員

専門部会出席委員（19名）

嶋野部会長、西村副部会長、桜井副部会長、蘆田委員、阿部委員、飯島委員、梅津委員、遠藤委員、大塚委員、木原委員、櫻田委員、佐藤（英）委員、佐藤（渉）委員、珠玖委員、高橋（圭）委員、高橋（広）委員、田村委員、平谷委員、堀越委員

専門部会欠席委員（3名）

須崎委員、廣瀬委員、山田委員

市民ファシリテーター（4名）

小寺氏、坂田氏、坂本氏、平岡氏

事務局

佐野副町長、石田政策推進課長、村上政策調整係長、藤村主査、佐藤主事、天野主事

《内容》

1 開会

政策推進課長

定刻となりましたので、令和5年度第1回総合計画審議会・第1回総合計画審議会専門部会を開催する。合同開催となるが、審議会の終了予定時間は20時00分とし、その後、専門部会では20時30分まで第2回～第3回で実施するグループワークのデモンストレーションを実施する。

2 町長挨拶（佐野副町長代理）

3 委嘱状交付

4 事務局説明

政策推進課長

事務局から（１）総合計画について（２）総合審議会及び専門部会の役割、施策評価について説明する。

事務局

（資料に基づき説明）

政策推進課長

ただ今の説明について質問等はあるか。

委員

（質問なし）

5 議事

政策推進課長

続いて議案の５番（１）会長及び副会長の選出に移る。芽室町総合計画審議会条例では会長１名、副会長２名、選出は委員の互選となっている。委員の皆さんから推薦はあるか。

委員

さまざまな委員をやられ、広い視野をお持ちの貫田正博委員を会長に、明瀬禎純委員と廣江英幸委員を副会長に推薦する。

政策推進課長

ただ今委員から推薦があったが、いかがか。

委員

（異議なし）

政策推進課長

それでは、会長は貫田正博委員、副会長は明瀬禎純委員、廣江英幸委員にお願いする。続いて（２）部会長、副部会長の選出に移る。審議会同様に、選出は委員の互選となっ

ている。委員の皆さまから推薦はあるか。

委員

嶋野丈治委員を会長に、A グループは西村有里委員、B グループは桜井哲委員を副部会長に推薦する。

政策推進課長

ただ今委員から推薦があったが、いかがか。

委員

(異議なし)

政策推進課長

それでは、部会長は嶋野丈治委員、A グループの副部会長は西村有里委員、B グループの副部会長は桜井哲委員にお願いします。

それでは、貫田会長、明瀬副会長、廣江副会長は前方の席へお移りいただく。

ここで貫田会長より挨拶をいただく。

貫田会長

(挨拶)

政策推進課長

それでは配付資料「総合計画関係条例」の1ページ、第5条第3項をご覧いただきたい。会長は会議の議長となることが定められている。このことから、ここからの進行は会長にお願いします。

会長

それでは議案6番、特別講話に移る。本日は、北海道大学教授の山崎幹根様にお越しいただいている。山崎様、よろしく申し上げます。

6 特別講話

北海道大学公共政策大学院山崎幹根教授から、資料に基づき講演が行われた。

◎はじめに

- ・外部評価をする意味とは事務局の説明でもあったように、PDCAという言葉があるが、行政はPには力を入れるし、世論もマスメディアも関心を向けているが、その後の成果については関心が向けられていないことが多い。だからこそ、やると決めたことを

追跡してチェックするということが大事。

- ・毎年審議会を開いて点検・評価をしているということは素晴らしい。芽室町は住民の皆さんと総合計画を手作りで作って、その手作りの総合計画を、毎年チェックしている。実はこうしたことを十数年間やっている地方自治体は全道・全国でもほとんどない。また、言っぱなし、聞きっぱなしでなく、預かった意見を担当部局にぶつけてフィードバックしている自治体はない。良き伝統である。
- ・住民の皆さんの外の目が重要。役場内部でマネジメントシートにより自己評価している上に、なぜ住民の皆さんにも評価していただくかということだが、行政の自己評価は甘くなりがち。そして自己評価だけをずっと続けているとマンネリ化してくる。そういったことのないように、外の方の目を入れて緊張感をもってやっていくということが大きな意味。
- ・評価の仕方については絶対的・客観的な評価の方法・基準が確立しているわけではないため、ベストな方法はなくベターな方法で、みんなで議論することが大切である。

◎施策評価のアプローチ

- ・評価をするときの視点は、①普通の町民（生活者）の視点、②民間（納税者）の視点、③自治の担い手、協働の担い手としての視点の3つの視点を持つことが重要。気になることはどんどん質問して、色んな疑問・問題点を洗い出してほしい。

◎評価シートの読み解き方

- ・評価シートの読み解き方のポイントについて。要因を考えることが大事。なぜ指標が下がったのか、なぜ上がったのか、目標値が達成されているか、なぜ未達成なのか、「その要因は何か」を考えることが重要である。
- ・評価シートの読み解き方の他の視点としては、時系列での比較、類似自治体や近隣自治体との比較、国全体の政策や社会的変動などがあるか、住民の側から考慮すべき点があるかなどを併せて考える必要がある。

◎はじめの手がかりとして

- ・まずは分からないことや不明点はなんでも聞いてみてほしい。一町民の立場から遠慮なく意見を出していい。議員さんは選挙で選ばれた代表で、代表としての役割や責任があるが、皆さん方は議員さんではないので日々の生活者として、暮らしや仕事での知見を大事にしてほしい。
- ・（審議会での）コメントは厳しい言い方になっても大丈夫。職員は日々厳しく言われたり追及されることに慣れている。しいて言うならぜひ建設的な批判を。
- ・審議会参加にあたって、特段の準備は必要ないが、可能であれば（広報誌）すまいるを見ていただいたり、町の公式HPに目を通しておくと施策のイメージを持ちやすくなる。

◎デモンストレーション

施策マネジメントシート「健全な財政運営」を例に、シート作成の主管課長である政

策推進課長との間で質疑のデモンストレーションが行われた。

- ・ 成果指標にある経常収支比率とは？
- ・ 将来負担比率とは？

会長

山崎教授、ありがとうございます。ただいまの講話について質問や意見はあるか。

委員

講演の中で「建設的な批判」という言葉は非常に良いと感じた。

山崎教授

よりよい町にしていくために、行政に対して愛情をもって意見していただきたい。

委員

昨年度も施策評価を行ったが、コロナ禍における評価が難しい。コロナの要因により数値が落ちているものと想定されるが、はたしてこの数値は正しいものなのか。なかなか数値だけで図りきれないと思う。アドバイスをいただきたい。

山崎教授

先ほどのデモンストレーションのような担当課とのやり取りを行い、要因を把握して事実を見極める。シートで図りきれない場合は、今年度上期の数値を質問をするなど、質疑の中でコロナの要因がどうかを判断していただきたい。

委員

議員経験があるが、総合計画審議会の住民評価と議員（議会）の評価が異なることがある。区別した方がよいのか。

山崎教授

審議会委員と議員では役割が異なる。議員は地域の代表や政治的な代表として期待されている。総合計画審議会の住民評価では、委員それぞれの生活や職業に根差した意見をいただきたい。

会長

他に意見・質問はあるか。

委員

(意見・質問なし)

会長

それでは議題7今後のスケジュールに移る。事務局から説明をお願いします。

事務局

資料に基づいて、今後のスケジュールについて説明。

会長

ただいまの説明について、または全体を通して質問等はないか。

委員

(質問なし)

会長

質問がなければ以上で審議会を閉会とする。また、専門部会についてはグループワークのデモンストレーションに移る。進行は部会長をお願いします。

部会長

部会長の嶋野です。よろしく申し上げます。さっそくですが、議案8グループワークのデモンストレーションについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

グループワークの進め方について資料に沿って説明。

その後、事務局職員5名及び市民ファシリテーター1名の合計6名でグループワークのデモンストレーションを実施。

部会長

デモンストレーションについて、質問や意見はあるか。

委員

初めて委員となったが、グループワーク1施策30分の中で総合計画そのものや施策評価について過去の経過など聞く機会はあるのか。また、他のグループワークの結果の確認方法はあるのか。

事務局

グループワークでは30分と限られた中で対象施策について協議する。総合計画そのものや過去の経過など気になることがあれば、グループワーク前に事務局にご連絡いただくことや、グループワーク後に担当課に話を聞くことも可能。お気軽にご連絡いただきたい。

また、グループワークの結果やいただいた意見については、11月に結果を公表する。

委員

初めて委員となった。デモンストレーションを見たが、相当勉強が必要だと感じた。意見になるが、全員が今のデモンストレーションのように意見を言うことができないかと思う。また、自分があまり関わったことがない施策についても評価することは並大抵なことではない。

委員

役場内部の施策評価結果と審議会による外部評価の施策評価結果は、両方シートに記載されるのか。

政策推進課長

両方記載される。例えば、役場内部の評価結果（Cランク）と審議会評価（Dランク）が異なることもある。なぜ評価されなかったのか、何が足りなかったのか。今後、町民の皆さまに良い評価をしていただけるように取組などを検討していくことに繋がる。

委員

評価の中で、前期実施計画策定時と比較して評価するということが引っかかる。前年度評価からは成果指標の数値が落ちたとしても、計画策定時から数値が上がっていれば前進したということなのか。

政策推進課長

おっしゃるとおり。多少、毎年波はあるかもしれないが、あくまでも計画策定時と比較して評価していただきたい。

委員

議会経験があり、施策評価は非常に重要なものだと思っている。総合計画審議会の意見は議会にも大きな影響を与える。しっかり考えていかなければならないと思う。町では審議会と議会の関係はどのように捉えているか。

政策推進課長

施策評価は議会では実施していない。審議会は町民目線で町民からの意見をいただく場だと認識している。非常に重い会議として位置づけられると思うが、山崎教授からも講演があったように、生活者目線で気軽にご発言いただいた方が、町としてもありがたい。シート記載の内容から、些細なことでも質問や意見をお話しいただきたい。

部会長

質問がなければ、
以上で専門部会を閉会とする。お疲れ様でした。

20:35 閉会